

6 2026年度 入学者選抜概要

【学校推薦型選抜・総合型選抜・その他の選抜】

- ・出願資格、選考方法、試験場等は、入学者選抜種別により異なります。詳細は大学公式ウェブサイトに7月中旬より順次公表する各入学者選抜要項で必ず確認してください。
- ・ここに表記されている『高等学校』は、中等教育学校の後期課程も含みます。
- ★印の入学者選抜要項は公表していません。

ここに表記している各入学者選抜情報は、大規模災害等の発生により、変更が生じる場合があります。最新情報を大学公式ウェブサイトにて必ず確認してください。

★ 指定校推薦

学部・学科ごとに本学が指定した高等学校の学校長推薦による入学者選抜です。

★ 提携校推薦

本学と教育提携を結ぶ高等学校の学校長推薦による入学者選抜です。

★ キリスト教学校教育同盟加盟高等学校推薦

キリスト教学校教育同盟に加盟する高等学校の生徒を対象とする入学者選抜です。

全国高等学校キリスト者推薦

▶2段階選抜を行う学部・学科

法学部 法学科 ヒューマンライツ学科

募集人員 各学科若干名(各学科1校1名)

出願資格

- 高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)の生徒で、次の全項目に該当する者
- (1)2026年3月卒業見込みの者で学校長が責任をもって推薦し得る者
 - (2)出願時にプロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)であること。幼児洗礼の場合には信仰告白または堅信礼を経た者
 - (3)本学部を第一志望とする者
 - (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
 - (5)調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者

経営学部 経営学科 マーケティング学科

募集人員 各学科若干名

出願資格

- キリスト教学校教育同盟加盟高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)を除く高等学校の生徒で、次の全項目に該当する者
- (1)2026年3月卒業見込みの者で、高等学校長が責任をもって推薦し得る者
 - (2)プロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)または受洗予定者で、2026年2月末日までに受洗証明書を提出できる見込みの者
 - (3)本学部を第一志望とする者
 - (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
 - (5)高等学校または中等教育学校の後期課程の「全体の学習成績の状況」が4.0以上で、英語の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.2以上の者

理工学部 物理科学科 数理サイエンス学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科 情報テクノロジー学科

募集人員 各学科若干名(各学科1校1名)

出願資格

- 高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)の生徒で、次の(1)～(5)の全項目に該当する者
- (1)2026年3月卒業見込みの者で高等学校長が責任をもって推薦し得る者
 - (2)出願時にプロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)であること。幼児洗礼の場合には信仰告白または堅信礼を経た者
 - (3)本学部／学科を第一志望とする者
 - (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
 - (5)以下の各学科の資格

■物理科学科

高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者。なお、数学I、数学II、数学III、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)、物理基礎、物理は必ず履修していること。

■数理サイエンス学科

高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者。なお、数学I、数学II、数学III、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)は必ず履修していること。(物理基礎、物理)または(化学基礎、化学)は必ず履修していること。

■化学・生命科学科

高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者。なお、数学I、数学II、数学III、化学基礎、化学は必ず履修していること。数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)は履修していることが望ましい。

■電気電子工学科

高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上で、かつ以下の①または②のいずれかの条件を満たす者。

- ①数学I、数学II、数学III、物理基礎、物理の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.0以上である者
- ②数学I、数学II、数学III、化学基礎、化学の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.0以上である者

なお、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)、物理基礎、物理を履修していることが望ましい。

■機械創造工学科

高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者。なお、数学I、数学II、数学IIIは必ず履修していること。また、数学および英語の成績が上位である者が望ましい。さらに、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)を履修していることが望ましい。

■経営システム工学科

高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者。なお、数学I、数学II、数学III、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)は必ず履修していること。また、数学および英語の成績が上位である者が望ましい。

■情報テクノロジー学科

高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が4.0以上、かつ数学の「学習成績の状況」(評定の平均値)と理科の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.0以上である者。なお、数学I、数学II、数学III、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)は必ず履修していること。ただし、高校が定める3ヵ月以上の留学制度に参加したために履修不可能であることを証明できる場合(※)には、数学IIIの履修は必須ではない。また、数学および英語の成績が上位である者が望ましい。

(※)留学制度の条件については、出願前に必ずお問合せください。

選考方法	第一次審査	書類審査
	第二次審査 (第一次審査 合格者のみ)	小論文 面接

▶1段階選抜を行う学部・学科

教育人間科学部 心理学科

募集人員 若干名

出願資格

- キリスト教学校教育同盟加盟高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)を除く高等学校の生徒で、次の全項目に該当する者
- (1)2026年3月卒業見込みの者で高等学校長が責任をもって推薦し得る者

- (2)出願時にプロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)であること。幼児洗礼の場合には信仰告白または堅信礼を経た者
- (3)本学科を第一志望とする者
- (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
- (5)調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上で、英語の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.4以上であること

経済学部 経済学科 現代経済デザイン学科

募集人員 各学科若干名

出願資格

キリスト教学校教育同盟加盟高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)を除く高等学校の生徒で、次の全項目に該当する者

- (1)2026年3月卒業見込みの者で高等学校長が責任をもって推薦し得る者
- (2)出願時にプロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)であること。幼児洗礼の場合は信仰告白または堅信礼を経た者
- (3)本学部を第一志望とする者
- (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
- (5)調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上であること(なお数学Ⅱを履修していることが望ましい)
- (6)実用英語技能検定準2級以上(S-CBTでも可)あるいはTOEIC®L&Rテスト385点以上のスコアを出願時に提出できる者(いずれも出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの)
※英語資格・検定試験を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選ぶ。

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科 国際コミュニケーション学科

募集人員 各学科若干名

出願資格

高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)の生徒で、次の全項目に該当する者

- (1)2026年3月卒業見込みの者で高等学校長が責任をもって推薦し得る者
- (2)本学部を第一志望とする者
- (3)プロテスタント教会の正会員または受洗予定者(ただし、2026年2月末日までに受洗証明書を提出できる見込みの者)
- (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
- (5)高等学校または中等教育学校の後期課程の「全体の学習成績の状況」が4.0以上、かつ外国語の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.3以上の者
- (6)TOEFL iBT® 61点以上、IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.0以上、実用英語技能検定準1級もしくは2級以上の受験でCSEスコア2304点以上を提出できる者(CSEスコアの総合スコアが基準を満たしていれば受験級の可否は問いません)。いずれも出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの
※英語資格・検定試験を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選ぶ。

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

総合文化政策学部 総合文化政策学科

募集人員 若干名(1校1名)

出願資格

キリスト教学校教育同盟加盟高等学校を除く高等学校または中等教育学校の後期課程の生徒で、次の全項目に該当する者

- (1)2026年3月卒業見込みの者で高等学校長が責任をもって推薦し得る者
- (2)出願時にプロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)であること。なお、幼児洗礼の場合は、信仰告白または堅信礼を経た者
- (3)本学部を第一志望とする者
- (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
- (5)調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者
- (6)以下のA・B・C・D・E・Fいずれかのスコアを提出できる者
A.TOEFL iBT® 42点以上
B.TOEIC® L&R 550点以上、S&W 240点以上
C.IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 4.0以上
D.TEAP(4技能) 226点以上(TEAP CBTは除く)

E.GTEC(CBTタイプ、検定版) 960点以上

F.実用英語技能検定 2級以上

※出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの。ただし、TEAPについては、2024年度第1回以降のテストから、出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。英語資格を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選ぶ。

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

社会情報学部 社会情報学科

募集人員 若干名

出願資格

キリスト教学校教育同盟加盟高等学校を除く高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)の生徒で、次の全項目に該当する者

- (1)2026年3月卒業見込みの者で高等学校長が責任をもって推薦し得る者
- (2)出願時にプロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)であること。幼児洗礼の場合は信仰告白または堅信礼を経た者
- (3)本学部を第一志望とする者
- (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
- (5)調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上であること。なお、数学I、数学II、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)、数学C(ベクトル)を履修していることが望ましい

地球社会共生学部 地球社会共生学科

募集人員 若干名(1校1名)

出願資格

キリスト教学校教育同盟加盟高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)を除く高等学校の生徒で、次の全項目に該当する者

- (1)2026年3月高等学校卒業見込みの者で高等学校長が責任をもって推薦し得る者
- (2)出願時にプロテスタント教会の現住陪餐会員(正会員)であること。幼児洗礼の場合は信仰告白または堅信礼を経た者
- (3)本学部を第一志望とする者
- (4)本学におけるキリスト教活動への積極的な参加の意思が明確である者
- (5)高等学校または中等教育学校の後期課程の「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

※海外就学経験がある場合、帰国後卒業単位として単位認定を受ける海外就学経験期間が通算1年半未満の者とし、単位認定を受ける海外就学期間が記載された高等学校調査書を提出しなければならぬ。

- (6)以下のA・B・C・D・E・Fいずれかのスコアを提出できる者

A.TOEFL iBT® 54点以上

B.TOEIC® L&R 550点以上かつS&W 240点以上

C.IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 4.5以上

D.TEAP(4技能) 250点以上(TEAP CBTは除く)

E.実用英語技能検定 2級合格。もしくは準1級以上の受験でCSEスコア1980点以上(CSEスコアの総合スコアが基準を満たしていれば受験級の可否は問いません)。

F.GTEC(CBTタイプ、検定版) 1100点以上

※E以外は、出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの。ただし、TEAPについては、2024年度第1回以降のテストから、出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。英語資格を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選ぶ。

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

選考方法	教育人間科学部、経済学部、総合文化政策学部、社会情報学部、地球社会共生学部:書類審査 小論文 面接 国際政治経済学部:小論文 面接(書類審査含む) ※面接は英語での質疑が一部含まれます。
------	---

スポーツに優れた者

文学部 史学科 比較芸術学科

教育人間科学部 教育学科

法学部 法学科 ヒューマンライツ学科

経営学部 経営学科 マーケティング学科

国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科 国際コミュニケーション学科

総合文化政策学部 総合文化政策学科

社会情報学部 社会情報学科

コミュニティ人間科学部 コミュニティ人間科学科

募集人員 文学部 史学科 約2名/比較芸術学科 約1名/教育人間科学部 教育学科 約4名/法学部 法学科 3名以内/ヒューマンライツ学科 4名以内/経営学部 経営学科 約10名/マーケティング学科 約5名/国際政治経済学部 国際政治学科 約2名/国際経済学科 約2名/国際コミュニケーション学科 約1名/総合文化政策学部 総合文化政策学科 約5名/社会情報学部 社会情報学科 ①スポーツに優れた者方式 約2名 ②相模原キャンパススリート方式 約10名

コミュニティ人間科学部 コミュニティ人間科学科 約8名

《全学部共通の注意事項》

●2つ以上の学部・学科・方式への出願はできません。

ただし、経営学部においては、第一志望、第二志望学科を記入のうえ出願すること。

●学部・学科・方式により、出願資格として認める競技種目が異なります。

詳細は入学者選抜要項で必ず確認してください。

●出願資格は、学部・学科・方式により異なりますので十分注意してください。

■文学部、教育人間科学部、法学部、経営学部、国際政治経済学部、総合文化政策学部、社会情報学部(スポーツに優れた者方式)、コミュニティ人間科学部

出願資格

高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)の生徒で、次の全項目に該当する者

- (1)2026年3月高等学校卒業見込みの者
- (2)本学への入学を第一志望とし、入学後は学業とスポーツ活動とを両立させる強い意志をもつ者
- (3)入学後、本学体育会所属部会に所属し、在学期間中は当該スポーツ活動を継続する強い意志をもつ者
- (4)高等学校第3学年1学期までの「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
社会情報学部においては、「全体の学習成績の状況」が原則3.5以上の者であり、かつ、数学I、数学II、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)、数学C(ベクトル)を履修していることが望ましい。
- (5)募集競技種目において、高等学校在学中の競技実績が次の(a)～(d)のいずれかに該当する者
(a)オリンピック、世界選手権等の国際大会およびこれらに相当する国際大会に出場した者
(b)全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民スポーツ大会(旧称:国民体育大会)およびこれらに相当する全国大会において、8位以上の成績をおさめた者。団体競技の場合は、8位以上の成績をおさめたチームの一員である者。ただし、教育人間科学部教育学科では、「全国高等学校総合体育大会」における競技種目を主な対象とする
(c)全国大会に出場するための都道府県大会や各地域のブロック大会において、優勝または準優勝の成績をおさめた者。団体競技の場合は、優勝または準優勝の成績をおさめたチームの一員である者
(d)その他、上記(a)～(c)と同等以上の実績・能力を公式競技記録等により証明できる者
- (6)経営学部と国際政治経済学部においては、以下の条件を満たす者。

《経営学部》

以下のAからCのいずれかの英語資格・検定試験のスコア・証明書を提出できる者

A 以下のいずれかを満たす者

① 実用英語技能検定CSE スコア 1950点以上

② GTEC 960点以上(CBTタイプ、検定版)

③ IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 4.0以上

④ TEAP(4技能)225点以上

⑤ TEAP CBT 420点以上

⑥ TOEFL iBT® 42点以上

⑦ TOEIC®(L&RとS&Wの合計)790点以上

B 実用数学技能検定2級以上の者

C 実用数学技能検定準2級以上かつ以下のいずれかを満たす者

- ① 実用英語技能検定CSE スコア 1700点以上
- ② GTEC 690点以上 (CBTタイプ、検定版)
- ③ TEAP (4技能) 135点以上
- ④ TEAP CBT 235点以上
- ⑤ TOEIC® (L&RとS&Wの合計) 385点以上

※出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの。ただし、TEAPについては、2024年度第1回以降のテストから、出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。英語資格・検定試験を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選ぶ。

国際政治経済学部

以下の英語資格・検定試験のスコアをいずれか1つ提出できる者

- ① 実用英語技能検定CSEスコア 1950点以上
- ② GTEC 930点以上 (CBTタイプ、検定版)
- ③ IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 4.0以上
- ④ TEAP (4技能) 225点以上
- ⑤ TEAP CBT 420点以上
- ⑥ TOEFL iBT® 42点以上
- ⑦ TOEIC® (L&RとS&Wの合計) 790点以上

※出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの。ただし、TEAPについては、2024年度第1回以降のテストから、出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。英語資格

格を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選ぶ。

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

■社会情報学部(相模原キャンパスアスリート方式)

出願資格

当該方式は、以下の指定部部長の推薦が得られる者を対象とする。

【指定部】

本学体育会:硬式野球部、ラグビー部、陸上競技部(短・長距離)、バスケットボール部(男子)、スキー部(女子)、バドミントン部(女子)

詳細は、入学者選抜要項を参照してください。

選考方法	第一次審査	書類審査
	第二次審査 (第一次審査 合格者のみ)	文学部、教育人間科学部、法学部、経営学部、総合文化政策学部、社会情報学部(スポーツに優れた者方式)、コミュニティ人間科学部:小論文 面接 国際政治経済学部:小論文 面接(英語での質疑が一部含まれます) 社会情報学部(相模原キャンパスアスリート方式):面接(口頭試問)

★ スポーツに優れた者(強化指定部制)

高等学校在学中、スポーツにおいて優れた成績をおさめた生徒を対象とする強化指定部制(スカウト制)入学者選抜です。強化指定部には、硬式野球部・バスケットボール部(男子)・バレーボール部(女子)・ラグビー部・陸上競技部(中・長距離)(短距離)があります。

自己推薦

文学部 英米文学科 [英語資格取得者を対象]

募集人員 約30名

出願資格

次のA～Eのいずれかの資格を取得している者で、下記の(1)～(3)までのいずれかに該当する者。

- A. 実用英語技能検定準1級以上
- B. TOEIC® Listening & Reading 730点以上、およびSpeaking 130点以上、Writing 140点以上
- C. TOEFL iBT® 68点以上
- D. TEAP (4技能) 300点以上
- E. IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 5.5以上

<注意事項>

- ・Aについては、従来型、英検S-CBT、英検CBT、英検2020 1day S-CBT、英検S-Interview、英検2020 2days S-Interviewを有効とする。
- ・B、C、Eについては、出願書類提出期間末日より2年以内に取得したものを有効とする。
- ・Bについては、SpeakingとWritingのスコアは、受験日が異なるスコアの組み合わせでも出願可。TOEIC IP (Institutional Program) は不可。
- ・Cについては、Test Date Scoresのスコアに限る(MyBest™ Scoresは不可)。TOEFL iBT® Home Editionを含む。TOEFL ITP® (Institutional Testing Program) は不可。
- ・Dについては、TEAP CBTは除く。複数回受験した場合、各技能の最高点を組み合わせた総合点が資格を満たせば出願可。2024年度第1回以降のテストから出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。
- ・Eについては、IELTS コンピューター版を含む。

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

- (1) 高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。これらの者は次のとおりである。
 - (イ) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (ロ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (ハ) 文部科学大臣の指定した者(国際バカロレア資格取得者など)
 - (ニ) 文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者および高等学校卒業程度認定試験に合格した者または高等学校卒業程度認定試験に2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達する者
 - (ホ) 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達する者

文学部 史学科

募集人員 約13名

出願資格

次の(1)から(3)のすべての項目に該当する者。

(1) 以下の①または②のいずれかに該当する者

- ① 2026年3月に日本の高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)を卒業見込みの者※
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を2026年3月31日までに修了見込みの者

(2) 本学科を第一志望として本学科へ進学を希望する者

(3) 以下の①または②のいずれかに該当する者

- ① 高等学校における「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者
- ② 高等学校における「全体の学習成績の状況」が3.8以上、かつ「世界史探究」もしくは「日本史探究」の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.5以上である者

※日本にある外国人学校(インターナショナルスクール等)を卒業見込みの者、「高等学校卒業程度認定試験」合格者は含みません。

文学部 比較芸術学科

募集人員 約8名

出願資格

次の(1)から(3)のすべての項目に該当する者

(1) 以下の①または②のいずれかに該当する者

- ① 2026年3月に日本の高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)を卒業見込みの者※
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を2026年3月31日までに修了見込みの者

(2) 本学科を第一志望として本学科へ進学を希望する者

(3) 以下の①または②のいずれかに該当する者

- ① 高等学校における「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者
- ② 下記、3点すべての要件を満たす者
 - 1) 高等学校における「全体の学習成績の状況」が3.8以上であること
 - 2) 高等学校における「外国語」の「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.2以上であること
 - 3) 高等学校における「世界史探究」または「日本史探究」のいずれかの「学習成績の状況」(評定の平均値)が4.2以上であること

※日本にある外国人学校(インターナショナルスクール等)を卒業見込みの者、「高等学校卒業程度認定試験」合格者は含みません。

地球社会共生学部 地球社会共同学科

募集人員 約31名

出願資格

(I)《出願資格一覧表》の「自己アピールできる分野」A～Fのいずれかに該当する場合
次の(1)～(5)のすべての項目に該当する者。

- (1) 2026年3月に日本の高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)卒業見込みの者
- (2) 本学部を第一志望とする者
- (3) 《出願資格一覧表》の「自己アピールできる分野」A～Fのいずれかにおいて優れた成績または活動実績を上げ、自身の氏名が記載されている公的な資料や書類を提出できる者。(高等学校在籍中の活動を対象とする)
- (4) 《出願資格一覧表》で定められた高等学校における「全体の学習成績の状況」を満たしている者
※海外就学経験がある場合、海外就学期間が記載された高等学校調査書を提出しなければならない。(高等学校が認定する海外就学期間は通算1年半未満とする)
- (5) 《出願資格一覧表》で定められた英語資格のいずれか1つを満たしており、スコア・証明書が提出できる者。実用英語技能検定以外は、出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの。ただし、TEAPについては2024年度第1回以降のテストから出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。英語資格を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選んで提出。

(II)《出願資格一覧表》の「自己アピールできる分野」Gに該当する場合

日本国籍を有する者(出入国管理及び難民認定法(昭和26年10月4日政令第319号)別表第二上欄に掲げる者および日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法(平成3年5月10日法律第71号)に定める「特別永住者」を含む)で、次の(1)～(3)のすべての項目に該当する者。

(1) 保護者の海外勤務に伴い海外に居住したか否かを問わず、外国における正規の学校教育を受け、次の①～③のいずれかに該当する者。

- ① 海外において外国の教育課程に基づく高等学校(10～12年生)に、2年以上継続して在籍し、通常の12年の学校教育課程を海外の高等学校で2026年3月31日までに卒業見込みの者、または卒業した者。ただし、卒業した者については、入学時までに卒業後の経過年数が、1年未満である者とする。

- ②海外において外国の12年の学校教育課程を修了した者に準ずる者で、文部科学大臣の指定した者。なお、以下のすべての要件を満たすこと。
- ・資格取得後の経過年数が、1年未満であること。
 - ・海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、中学校課程以上(7～12年生)で通算3年以上であること。
- ③国際バカロレアの資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が、1年未満である者とする。*
- * 次のいずれかに該当する者を含む
 - ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満である者とする。
 - ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満である者とする。
- (2) 本学部を第一志望とする者
- (3) 《出願資格一覧表》で定められた英語資格のいずれか1つを満たしており、スコア・証明書が提出できる者。実用英語技能検定以外は、出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの。ただし、TEAPについては2024年度第1回以降のテストから出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。英語資格を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選んで提出。

《出願資格一覧表》

出願資格	(I)						(II)
	A	B	C	D	E	F	G
自己アピールできる分野 (いずれか1つ選ぶ)	英語資格試験 高得点者	海外留学経験者 ※5	ボランティア活動実績がある者 ※6	スポーツに優れた者 ※7	文化・芸術分野に優れた者 ※8	実用数学技能検定 取得者 ※9	海外就学経験者
必須項目「全体の学習成績の状況」	3.8以上	3.8以上					—
英語資格・検定試験 (いずれか1つ選ぶ) ※10	TOEFL iBT® 68点以上 TOEIC® L&R700点以上かつ S&W270点以上 IELTS※1 5.5以上 実用英語技能検定 準1級以上※2 TEAP(4技能)※4 300点以上 GTEC(CBTタイプ、検定版) 1190点以上	54点以上 L&R550点以上かつ S&W240点以上 4.5以上 2級以上※3 250点以上 1100点以上					68点以上 L&R700点以上かつ S&W270点以上 5.5以上 準1級以上※2 300点以上 1190点以上

- ※1 IELTSはAcademic Moduleオーバーオール・バンド・スコア
- ※2 実用英語技能検定準1級合格。もしくは1級受験でCSEスコア2304点以上(CSEスコアの総合スコアが基準を満たしていれば受験級の合否は問いません)。
- ※3 実用英語技能検定2級合格。もしくは準1級受験でCSEスコア1980点以上(CSEスコアの総合スコアが基準を満たしていれば受験級の合否は問いません)。

理工系女子特別 新規実施

理工学部 物理科学科 電気電子工学科 機械創造工学科 情報テクノロジー学科

募集人員 物理科学科 5名／電気電子工学科 5名／機械創造工学科 5名／情報テクノロジー学科 5名

出願資格

- 次の(1)から(3)のすべての項目に該当する者。なお、学校推薦型選抜との併願は不可とする。
- (1) 以下の①または②のいずれかに該当する者
- 日本の高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの女子
 - ①と同等と認定された在外教育施設の課程を2026年3月31日までに修了見込みの女子
- (2) 以下の①～③のすべての項目に該当する者
- 次のA.～F.のいずれかの資格を取得している者
 - A.実用英語技能検定 CSEスコア1980点以上
(CSEスコアについては4技能スコアの提出を必須とする。スコアの総合点が基準を満たしていれば受験級ならびにその合否は問わない。)
 - B.TOEIC® L&R 550点以上 かつ S&W 240点以上
 - C.TOEFL iBT® 42点以上
 - D.TEAP(4技能) 225点以上
 - E.IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 4.0以上
 - F.GTEC(CBTタイプ、検定版) 930点以上
- ※出願書類提出期間末日より2年以内に取得済みのもの。ただし、TEAPについては、2024

- ※4 TEAP CBTは除く。
- ※5 海外留学経験者の留学期間は、交換留学(高等学校在籍で帰国後卒業単位として単位認定を受ける留学)で3ヵ月以上、1年半未満とする。
- ※6 高校時代に自身が積極的に取り組んだボランティア活動の内容(団体の説明・具体的な活動の内容・活動した期間等)を公的な資料により証明できる者。
- ※7・8 高校時代に全国レベルの大会において入賞・出場経験がある者、もしくは同等以上の活動実績を上げていると証明できる者。(団体での活動の場合は、上記大会で成績をおさめたチームの一員であると証明できる者)なお、出願にあたっては、全国レベルの大会の主催者(文化・芸術分野においては各審査員の所属も示すことが望ましい)、該大会の参加者数もしくは参加高校数、応募者数、予選大会の数や、全国で予選に参加した人数など、全国レベルの大会であることを証明する資料を「証明資料貼付用紙」に必ず貼付し、自分の成績の該当箇所を明示する。資料が貼付されていない場合には出願資格が無い者として取り扱う。
- ※9 準1級以上(合格証明書の有効期限は設けない)
- ※10 異なる実施回の各技能のスコアの組み合わせ不可。
- 英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

コミュニティ人間科学部 コミュニティ人間科学科

募集人員 約12名

出願資格

- コミュニティ人間科学部での学習に関心を持ち、第一志望とし、次の(1)または(2)の項において該当する者
- (1) 次のいずれかに該当する者(学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- 高等学校卒業後、職に就いている者、または職に就いていたことがある者
 - 定時制・通信制・単位制の高等学校卒業見込みの者で既に職に就いている者
- (2) 2026年3月までに日本の高等学校または中等教育学校の後期課程を卒業した者もしくは卒業見込みの者で、次の全項目に該当する者
- 出願時に個人または青少年団体をはじめとする各種の団体等で1年以上にわたって継続的にボランティア活動などの社会貢献活動歴がある者。ただし、部活動や学校行事等の活動は社会貢献活動から除く。
 - 高等学校または中等教育学校の後期課程等における「全体の学習成績の状況」が3.5以上である者

選考方法	第一次審査	書類審査
	第二次審査 (第一次審査合格者のみ)	文学部 英米文学科:小論文(英語および日本語)※ ※英文を読み、英語と日本語の両方で文章を書く 面接(英語および日本語) 史学科:歴史分野の学力を問う論述 面接 比較芸術学科:芸術に関する基礎知識 面接 地球社会共生学部、コミュニティ人間科学部:小論文 面接

- 年度第1回以降のテストから、出願書類提出期間末日までに取得したものを有効とする。英語資格・検定試験を複数有している場合は、最も優れていると思うものを1つ選ぶ。
- ② 高等学校最終学年第1学期又は前期までの数学の「学習成績の状況」(評定の平均値)が3.8以上の者
- ③ 高等学校最終学年第1学期又は前期までの理科の「学習成績の状況」(評定の平均値)が3.8以上の者
- (3) 出願する学科への入学を第一志望とし、合格した場合に入学することを確約できる者
- 英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

選考方法	第一次審査	書類審査
	第二次審査 (第一次審査合格者のみ)	基礎学力調査 「数学」:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列)、 数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面) の内容の基礎学力調査 「理科」:物理(物理基礎、物理の内容の基礎学力調査) または化学(化学基礎、化学の内容の基礎学力調査) を選択し、その内容の基礎学力調査 (※ただし物理科学科は物理のみ) 面接(学力に関する試問も含む) 上記選考方法に加え、出願資格(2)のスコアも合否判定に使用します。

海外就学経験者

法学部 ヒューマンライツ学科

募集人員 5名

出願資格

- 日本国籍を有する者(出入国管理及び難民認定法(昭和26年10月4日政令第319号)別表第二上欄に掲げる者および日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法(平成3年5月10日法律第71号)に定める「特別永住者」を含む)で、次の(1)、(2)のいずれかに該当し、かつ(3)の(I)または(II)のいずれかの条件を満たしている者。
- (1) 保護者の海外勤務に伴い、海外に居住し、外国における正規の学校教育を受け、次の①～⑥のいずれかに該当する者。
- 海外において外国の教育課程に基づく高等学校(10～12年生)に、2年以上継続して在籍し、通常の12年の学校教育課程を海外の高等学校で2026年3月31日までに卒業見込みの者、または卒業した者。ただし、卒業した者については、入学時までに卒業後の経過年数が、1年未満である者とする。
 - 外国において、学校教育における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格

- し、2026年3月31日までに18歳に達する者。ただし、当該試験合格後の経過年数が、1年未満であるものとする。
- ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程であって文部科学大臣が指定するものを修了した者。ただし、修了後の経過年数が、1年未満であるものとする。
- ④ 国際バカロレアの資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が、1年未満であるものとする。
- ⑤ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満であるものとする。
- ⑥ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満であるものとする。
- (2) 保護者の海外勤務に伴い海外に居住をしたか否かを問わず、海外において外国の教育課程に基づく教育を受け、通常の12年の学校教育課程を2026年3月31日までに卒業見込みの者、または卒業した者で、次の①または②のいずれかに該当する者。ただし、卒業した者については、入学時までに卒業後の経過年数が、1年未満である者とする。

【学校推薦型選抜・総合型選抜・その他の選抜】

- ① 海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、中学校課程以上（7～12年生）に就学した者は通算3年以上。
- ② 海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、小学校課程（1～6年生）を含む者または小学校課程の者は通算4年以上。
- (3) 前記(1)、(2)のいずれかに該当し、かつ次の(I)または(II)のスコア・証明書が提出できる者。(TOEFL iBT®・TOEIC® L&R-IELTSのスコアおよび各種検定証明書は出願書類提出期間末日より2年以内に取得済のもの)
- (I) 以下いずれかのスコアが提出できる者。
- ① TOEFL iBT® (TOEFL iBT® Home Editionを含む) 79点以上
 - ② TOEIC® L&R 730点以上
 - ③ IELTS (Academic Module, IELTS コンピューター版を含む) オーバーオール・バンド・スコア6.0以上
 - ④ 実用英語技能検定(従来型、英検S-CBT、英検S-Interview) 準1級以上
- (II) 以下のグループAのいずれかの検定合格証明書およびグループBのいずれかのスコア・検定合格証明書が提出できる者。(グループAから1つ、グループBから1つを、両方提出してください)

グループA	ドイツ語:ゲート検定B1以上 ・フランス語:Delf B1以上、TCF300点以上または仏検2級以上 ・スペイン語:DELE B1以上 ・ロシア語:ロシア語能力検定3級以上 ・中国語:中国語検定3級以上またはHSK4級のスコア180点以上 ・韓国語:韓国語能力試験3級以上
グループB	① TOEFL iBT® (TOEFL iBT® Home Editionを含む) 61点以上 ② TOEIC® L&R 590点以上 ③ IELTS (Academic Module, IELTS コンピューター版を含む) オーバーオール・バンド・スコア5.0以上 ④ 実用英語技能検定(従来型、英検S-CBT、英検S-Interview) 準1級以上

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

〈注意事項〉

- 出願資格(1)は、海外の高等学校卒業生および卒業見込者、またはそれに準ずる者が対象となります。出願資格(2)は、海外の高等学校でも日本の高等学校でも出願は可能です。
- 出願資格(1)の者で出国時は保護者の海外勤務に伴うが、保護者が先に帰国し、その後、長期にわたり志願者が単独滞在している場合は、単独で外国の学校に在籍していた期間が2年未満であれば出願可能とします。
- 法学部の志願者は、出願資格(1)～(3)のいずれかの資格単独での出願はできません。出願資格(1)、(2)のいずれかに該当し、あわせて(3)の条件を満たしている必要があります。

選考方法	書類審査 小論文 面接
------	-------------

国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科
国際コミュニケーション学科

募集人員 各学科若干名

出願資格

- 日本国籍を有する者(出入国管理及び難民認定法〔昭和26年10月4日政令第319号〕別表第二上欄に掲げる者および日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法〔平成3年5月10日法律第71号〕に定める「特別永住者」を含む)で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)の(I)または(II)のいずれかの条件を満たしている者。
- (1) 保護者の海外勤務に伴い、海外に居住し、外国における正規の学校教育を受け、次の①～③のいずれかに該当する者。
- ① 海外において外国の教育課程に基づく高等学校(10～12年生)に、2年以上継続して在籍し、通常の12年の学校教育課程を海外の高等学校で2026年3月31日までに卒業見込みの者、または卒業した者。ただし、卒業した者については、入学時までに卒業後の経過年数が、1年未満である者とする。
 - ② 海外において外国の12年の学校教育課程を修了した者に準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの。なお、以下のすべての要件を満たすこと。
 - ・資格取得後の経過年数が、1年未満であること。
 - ・海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、中学校課程以上(7～12年生)で通算3年以上であること。
 - ③ 国際バカロレアの資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が、1年未満である者とする。*
- * 次のいずれかに該当する者を含む
- ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満である者とする。
 - ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満である者とする。
- (2) 保護者の海外勤務に伴い海外に居住をしたか否かを問わず、海外において外国の教育課程に基づく教育を受け、通常の12年の学校教育課程を2026年3月31日までに卒業見込みの者、または卒業した者で、次の①または②のいずれかに該当する者。ただし、卒業した者については、入学時までに卒業後の経過年数が、1年未満である者とする。
- ① 海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、中学校課程以上(7～12年生)に就学した者は通算3年以上。
 - ② 海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、小学校課程(1～6年生)を含む者または小学校課程の者は通算4年以上。
- (3) 2025年3月に日本の高等学校を卒業した者または2026年3月に卒業見込みの者、かつ、高等学校入学後、交換留学(高校在籍で帰国後卒業単位として単位認定を受ける留学)で海外就学経験(海外就学期間:半年以上、2年未満)がある者。
- (4) 前記(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ次の(I)または(II)のスコア・証明書が提出できる者。(TOEFL iBT®・IELTSのスコアおよび各種検定証明書は出願書類提出期間末日より2年以内に取得済のもの)
- (I) 以下いずれかのスコアが提出できる者。
- ① TOEFL iBT® (TOEFL iBT® Home Editionを含む) 79点以上
 - ② IELTS (Academic Module, IELTS コンピューター版を含む) オーバーオール・バンド・スコア6.0以上

- ③ 実用英語技能検定(従来型、英検S-Interview) 1級
- (II) 以下のグループAのいずれかの検定合格証明書およびグループBのいずれかのスコア・検定合格証明書が提出できる者。(グループAから1つ、グループBから1つを、両方提出してください)

グループA	ドイツ語:ゲート検定 B2以上 ・フランス語:Delf B2以上、TCF 400点以上または仏検 準1級以上 ・スペイン語:DELE B2以上 ・ロシア語:ロシア語能力検定 2級以上 ・中国語:中国語検定 2級以上またはHSK 6級のスコア 180点以上
グループB	① TOEFL iBT® (TOEFL iBT® Home Editionを含む) 61点以上 ② IELTS (Academic Module, IELTS コンピューター版を含む) オーバーオール・バンド・スコア5.0以上 ③ 実用英語技能検定(従来型、英検S-CBT、英検S-Interview) 準1級以上

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

〈注意事項〉

- 出願資格(1)は、海外の高等学校卒業生および卒業見込者、またはそれに準ずる者が対象となります。出願資格(2)は、海外の高等学校でも日本の高等学校でも出願は可能です。
- 出願資格(1)の者で出国時は保護者の海外勤務に伴うが、保護者が先に帰国し、その後、長期にわたり志願者が単独滞在している場合は、単独で外国の学校に在籍していた期間が2年未満であれば出願可能とします。
- 国際政治経済学部の志願者は、出願資格(1)～(4)のいずれかの資格単独での出願はできません。出願資格(1)～(3)のいずれかに該当し、あわせて(4)の条件を満たしている必要があります。

選考方法	第一次審査	書類審査(外国語能力)
	第二次審査 (第一次審査合格者のみ)	小論文(日本語) 面接(書類審査含む) 面接は英語での質疑が一部含まれます。

理工学部 物理科学科 数理サイエンス学科
化学・生命科学科 電気電子工学科 機械創造工学科
経営システム工学科 情報テクノロジー学科

募集人員 各学科若干名

出願資格

- 日本国籍を有する者(出入国管理及び難民認定法〔昭和26年10月4日政令第319号〕別表第二上欄に掲げる者および日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法〔平成3年5月10日法律第71号〕に定める「特別永住者」を含む)で、次の(1)または(2)に該当し、かつ、外国語能力のいずれかのスコアが提出できる者。
- (1) 保護者の海外勤務に伴い、海外に居住し、外国における正規の学校教育を受け、次の①～③のいずれかに該当する者。
- ① 海外において外国の教育課程に基づく高等学校(10～12年生)に、2年以上継続して在籍し、通常の12年の学校教育課程を海外の高等学校で2026年3月31日までに卒業見込みの者、または卒業した者。ただし、卒業した者については、入学時までに卒業後の経過年数が、1年未満である者とする。
 - ② 海外において外国の12年の学校教育課程を修了した者に準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの。なお、以下のすべての要件を満たすこと。
 - ・資格取得後の経過年数が、1年未満であること。
 - ・海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、中学校課程以上(7～12年生)で通算3年以上であること。
 - ③ 国際バカロレアの資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が、1年未満である者とする。*
- * 次のいずれかに該当する者を含む
- ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満である者とする。
 - ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。ただし、資格取得後の経過年数が1年未満である者とする。
- (2) 保護者の海外勤務に伴い海外に居住をしたか否かを問わず、海外において外国の教育課程に基づく教育を受けた期間が、中学校課程以上(7～12年生)で通算3年以上の者、かつ、通常の12年の学校教育課程を2026年3月31日までに卒業見込みの者、または卒業した者。ただし、卒業した者については、入学時までに卒業後の経過年数が、1年未満である者とする。

外国語能力	以下のいずれかのスコアが提出できる者。 スコアは出願書類提出期間末日より2年以内に取得済のもの。 ・IELTS (Academic Module, IELTS コンピューター版を含む) オーバーオール・バンド・スコア ・TOEFL iBT® (TOEFL iBT® Home Editionを含む)
-------	--

英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。

〈注意事項〉

- 出願資格(1)は、海外の高等学校卒業生および卒業見込者、またはそれに準ずる者が対象となります。出願資格(2)は、海外の高等学校でも日本の高等学校でも出願は可能です。
- 出願資格(1)の者で出国時は保護者の海外勤務に伴うが、保護者が先に帰国し、その後、長期にわたり志願者が単独滞在している場合は、単独で外国の学校に在籍していた期間が2年未満であれば出願可能とします。
- 理工学部の志願者は、出願資格(1)、(2)いずれかの資格単独での出願はできません。出願資格(1)または(2)のいずれかに該当し、あわせて外国語能力のスコアを提出する必要があります。

選考方法	書類審査 数学 理科(物理または化学選択、ただし物理科学科は物理のみ、化学・生命科学科は化学のみ) 面接 上記選考方法に加え、IELTSまたはTOEFL iBT®のスコアも合否判定に使用します。
------	--

外国人留学生

文学部 英米文学科 フランス文学科 日本文学科 史学科 比較芸術学科
教育人間科学部 教育学科 心理学科
経済学部 経済学科 現代経済デザイン学科
法学部 法学科 ヒューマンライツ学科
経営学部 経営学科 マーケティング学科
国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科 国際コミュニケーション学科
総合文化政策学部 総合文化政策学科
理工学部 物理科学科 数理サイエンス学科 化学・生命科学科
 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科
 情報テクノロジー学科

社会情報学部 社会情報学科

募集人員 文学部 英米文学科 若干名／フランス文学科 若干名／日本文学科 5名／史学科 若干名／比較芸術学科 若干名／教育人間科学部 教育学科 若干名／心理学科 若干名／経済学部 経済学科 若干名／現代経済デザイン学科 若干名／法学部 法学科 3名／ヒューマンライツ学科 2名／経営学部 経営学科 若干名／マーケティング学科 若干名／国際政治経済学部 国際政治学科 若干名／国際経済学科 若干名／国際コミュニケーション学科 若干名／総合文化政策学部 総合文化政策学科 若干名／理工学部 物理科学科 若干名／数理サイエンス学科 若干名／化学・生命科学科 若干名／電気電子工学科 若干名／機械創造工学科 若干名／経営システム工学科 若干名／情報テクノロジー学科 若干名／社会情報学部 社会情報学科 若干名

出願資格

次に挙げる(1)～(2)の各条件を満たしている者。

(1)教育課程

- a. bのいずれかに該当する者。
- a. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(※)(2026年3月31日までに修了見込みの者を含む)。
- b. 日本の教育制度に基づく高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として文部科学大臣の指定した者のうち、次のいずれかの資格を有する者。
 - ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者。
 - ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。
 - ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。

(※)昭和56年文部省告示第153号に基づく

ただし、学校教育における12年の課程に日本の教育制度に基づく高等学校(または中等教育学校の後期課程。以下同じ)での在籍期間が含まれる場合は、その期間が1年以内であること。

【高等学校課程(10～12年生)に、日本国内に所在する外国人学校に在籍したことがある者の出願について】

出願学部により下記の通りの扱いとします。

■文学部、教育人間科学部、法学部、総合文化政策学部

国内に所在する外国人学校就学者は出願を認めない。

■経済学部、経営学部、国際政治経済学部、理工学部、社会情報学部

国内に所在する外国人学校も日本の高等学校と同等の扱いとし、就学期間1年以内であれば出願を認める。

【高等学校より前(1～9年生)に、日本国内の学校に在籍したことがある者の出願について】
 出願学部により下記の通りの扱いとします。

■文学部日本文学科、経済学部、法学部

小学校・中学校課程において日本国内の学校に在籍したことがある者は出願を認めない。

■上記以外の学部・学科

小学校・中学校課程において日本国内の学校に在籍したことがあっても出願を認める。

(2)在留資格

- c～eのいずれかに該当する者。
- c. 外国籍を有し、「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を有している者。
- d. 現在、日本に中長期滞在可能な「留学」以外の在留資格を有している者で、本学入学選抜に合格し、所定の入学手続きを完了後、在留資格変更許可申請にて2026年3月31日までに在留資格「留学」の取得が可能なる者(社会情報学部の「補欠候補者」(右記参照)からの合格者については、2026年4月30日までに在留資格「留学」の取得が可能なる者)。ただし、在留資格「留学」への資格変更の申請が不許可になった場合は入学を取り消す。

在留資格「永住者」、「永住者の配偶者等」、「日本人の配偶者等」、「定住者」および日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める「特別永住者」を有する者は、出願前に本人の住居地を管轄する地方出入国在留管理官署で入学前と卒業後の在留資格変更申請について確認のうえ、理解し、出願すること。在留資格変更申請において発生する一切の不利益については、出願者本人が負うこととする。

- e. 在留資格を有していない者で、本学入学選抜に合格し、所定の入学手続きを完了後、2026年3月31日までに地方出入国在留管理官署に在留資格認定証明書を申請中で、その証明(例えば申請受付票など)を提出することができる者(社会情報学部の「補欠候補者」(右記参照)からの合格者については、2026年4月30日までに地方出入国在留管理官署に在留資格認定証明書を申請中で、その証明(例えば申請受付票など)を提出することができる者)。ただし、在留資格「留学」取得の申請が不許可になった場合は入学を取り消す。

■文学部 英米文学科

出願要件	以下の①、②の両方を提出できる者。 ①SAT (Reading, Writing, Math) scoresまたはACT with Writing scores ②英語資格・検定試験 TOEFL iBT® (TOEFL iBT® Home Editionを含む) 80点以上 TOEIC® Listening & Reading 830点以上および Speaking 150点以上、Writing 160点以上 IELTS (Academic Module、IELTSコンピューター版を含む) オーバーオール・バンド・スコア 6.0以上 実用英語技能検定 1級(従来型、英検S-Interview、英検2020 2days S-Interview) ・ただし直近の6年間の学校教育のうち、少なくとも5年以上英語を主言語とする機関で教育を受けてきた者は、上記スコアの提出を免除。 ・実用英語技能検定以外は出願書類提出期間末日より2年以内に取得したものを有効とする。 ・該当するものすべてを提出してください。 英語資格・検定試験の扱いに関する詳細はP.170を参照。	
選考方法	第一次審査	上記の出願要件にある試験の成績で判定
	第二次審査 (第一次審査合格者のみ)	書類審査 小論文※# 面接※ (※は英語および日本語) (#は英文を読み、英語と日本語の両方で文章を書く)

■文学部(英米文学科は除く)、教育人間科学部、経済学部、法学部、経営学部、国際政治経済学部、総合文化政策学部、社会情報学部

出願要件	P.170参照	
選考方法	第一次審査	出願要件(P.170参照)にある試験の成績で判定。 経営学部の第一次審査は日本留学試験(「日本語」)のみの成績で判定します。
	第二次審査 (第一次審査合格者のみ)	文学部 フランス文学科:書類審査 日本語(読解) 面接(外国語に関する知識を含む) 日本文学科:書類審査 日本語・日本文学(古典を含まない) 面接 史学科:書類審査 論文(歴史学に関する基礎知識) 面接 比較芸術学科:書類審査 論文(芸術に関する基礎知識) 面接 教育人間科学部:書類審査 英語 面接 経済学部:書類審査 日本語(作文) 面接 法学部:書類審査 小論文(日本語) 面接 経営学部:書類審査※ 小論文 ※日本留学試験「総合科目」および「数学(コース1)」の成績で判定します。 国際政治経済学部:面接(書類審査を含む) 総合文化政策学部:書類審査 小論文(日本語) 面接 社会情報学部:書類審査 面接(口頭試問)

■理工学部

出願要件	P.170参照	
選考方法	書類審査 数学 理科(物理または化学選択、ただし物理科学科は物理のみ、化学・生命科学科は化学のみ) 面接 上記選考方法に加え、TOEFL iBT®またはIELTSのスコアも合否判定に使用します。	

「補欠候補者」制度について【社会情報学部のみ】

「補欠候補者」とは、再度2025年11月実施の日本留学試験の成績(詳細は下記)を提出することにより、その成績を鑑みて合否の判定を受けることのできる有資格者です。正規合格者の発表と同時に、該当者にお知らせします。

提出書類	2025年11月実施の「日本留学試験」受験票のコピーまたは成績確認書 2025年11月実施日本留学試験の成績 (受験科目は下記2種類の組み合わせの中から一つを選択する) ①日本語(読解・聴解・聴読解)、総合科目、数学(コース1) ②日本語(読解・聴解・聴読解)、数学(コース2)
提出期間	2026年1月5日(月)～1月13日(火) 郵送必着
合格発表日	2026年2月13日(金)
入学手続締切日	2026年2月20日(金)

注意:2025年11月実施の日本留学試験の出願受付期間は2025年7月7日(月)から7月31日(木)(日本国内の場合は同日17時)までとなっています。社会情報学部出願者で、この「補欠候補者」制度を利用する場合にはこの期間に願書を提出し、受験をする必要があります(最新の出願受付期間等詳細は「日本学生支援機構 日本留学試験」のウェブサイトでご確認ください)。

外国人留学生 出願要件【文学部(英米文学科は除く)、教育人間科学部、経済学部、法学部、経営学部、国際政治経済学部、総合文化政策学部、理工学部、社会情報学部】

学部	学科	受験すべき試験	日本留学試験 (2024年6月以降実施のもの)					日本語 能力試験 (2024年7月 以降実施の もの)	英語資格・検定試験(※2) (出願書類提出期間末日より 2年以内に取得していること)		
			○の付されている科目を必要とする						○の付されているスコアを提出すること		
			日本語		理科 200点	総合科目 200点	数学 200点		TOEIC® L&R	TOEFL iBT®	IELTS (Academic Module) オーバーオール・ バンド・スコア
			読解・聴解・ 聴読解 400点	記述 50点							
文学部(※1)	・フランス文学科 ・日本文学科 ・史学科 ・比較芸術学科	・日本留学試験 または日本語能力試験	○		—	—	—	N1 受験	—	—	—
教育人間科学部	・教育学科 ・心理学科	・日本留学試験 または日本語能力試験	○		—	—	—	N1 受験	—	—	—
経済学部	・経済学科 ・現代経済デザイン学科	・日本留学試験	○		—	○	—	—	—	—	—
法学部	・法学科 ・ヒューマンライツ学科	・日本留学試験	○ 270点以上		—	○ (出題言語は 日本語)	—	—	—	—	—
経営学部	・経営学科 ・マーケティング学科	・日本留学試験	○		—	○	○ コース1	—	—	—	—
国際政治経済学部	・国際政治学科 ・国際経済学科 ・国際コミュニケーション学科	・日本留学試験 または日本語能力試験 ・英語資格・検定試験	○ 270点以上		—	—	—	N1 合格	○ 590点以上	○ 61点以上	○ 5.0以上
総合文化政策学部	・総合文化政策学科	・日本留学試験 または日本語能力試験 ・英語資格・検定試験	○		—	—	—	N1 受験	○ 550点以上	○ 42点以上	○ 4.0以上
理工学部	・物理科学科 ・数理サイエンス学科 ・化学・生命科学科 ・電気電子工学科 ・機械創造工学科 ・経営システム工学科 ・情報テクノロジー学科	・日本留学試験 または日本語能力試験 ・英語資格・検定試験	○ 240点以上		—	—	—	N1 合格	—	○ (※3)	○ (※3)
社会情報学部(※4)	・社会情報学科	資格① ・日本留学試験 ・英語資格・検定試験	○ 270点以上	—	—	○ 110点以上	○ コース1 100点以上	—	○ 500点以上	○ 50点以上	○ 4.5以上
		資格② ・日本留学試験 ・英語資格・検定試験		—	—	—	○ コース2 110点以上				

※1 英米文学科の出願要件については、P.169を参照してください。 ※2 該当する英語資格・検定試験からいずれか1つのスコアを提出してください(扱いに関する詳細は下表参照)。

※3 スコアを合否判定に使用します。 ※4 資格①または資格②のいずれかを選択してください(P.169「補欠候補者」制度について)も熟読してください。

★ 全国児童養護施設推薦

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会に加盟している児童養護施設に入所している者を対象とした、施設長(施設責任者)の推薦による入学者選抜です。

2026年度 学校推薦型選抜・総合型選抜・その他の選抜における英語資格・検定試験の扱いについて

●証明書の有効期限等の詳細は、各入学者選抜の出願資格および入学者選抜要項にて確認してください。

英語資格・検定試験	出願資格を証明する書類	各英語資格・検定試験における要件
TEAP(4技能)	OFFICIAL SCORE REPORT	4技能/パターンに限る。
TEAP CBT		スポーツに優れた者の入学者選抜【経営学部、国際政治経済学部】のみ利用可。
実用英語技能検定	合格証明書または英検CSEスコア証明書 (「紙の証明書」のみ、「デジタル証明書」を印刷したものは不可) (Certification Cardは不可)	従来型、英検S-CBT、英検S-Interviewを有効とする。 ※出願資格において証明書の有効期限を設けていない場合は 英検CBT、英検2020 1day S-CBT、英検2020 2days S-Interviewについても有効とする。
IELTS	Test Report Form	Academic Module オーバーオール・バンド・スコアに限る。 IELTS コンピューター版を含む。 One Skill Retakeは不可。
TOEFL iBT®	Official Score Report (Institutional Score Report)または Test Taker Score Report (ただし、インターネットからダウンロードしたTest Taker Score Reportは不可)	TOEFL iBT® Home Editionを含む。 Test Date Scoresのスコアに限る。MyBest™ Scoresは不可。 ITP (Institutional Testing Program) は不可。
TOEIC® L&R および TOEIC® S&W	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE または OFFICIAL SCORE REPORT (「紙の公式認定証」のみ、「デジタル公式認定証」を印刷したものは不可)	IP (Institutional Program) は不可。
GTEC	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	CBTタイプおよび検定版に限る。